

科目名	児童学概論		
担当教員名	上垣内 伸子、赤井 美智子、金勝 裕子、齋藤 麗子 他		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(2011年度生)-幼児教育学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この科目は、幼児教育学科の学科専門科目であり、卒業必修科目である。入学後初めに学習する基礎科目であり、これからの4年間の幼児教育学科での学習の領域を概観するような内容となっている。学科専任教員各自の専門領域や研究内容を知るといった性格も持っている。

科目の概要

児童学への入口となるオムニバス形式の科目である。幼児教育学科専任教員が各自の専門的観点から「子ども」について講義し、学びの対象となる子どもへの興味関心を喚起する。

学修目標

- ・これまで持ってきたであろう一般的な「子ども」のイメージを一度突き崩して、多面的に子どもについて探求する。
- ・「子ども」という窓から、世の中の枠組み、身の回りの人間関係・出来事などについて見つめ直す。
- ・各講義担当者について各自が作成した「講義ノート」が主要テキストとなるので、授業の内容をつかみ、ノートにまとめを整理する。
- ・授業への参加、課題への取り組み、ノートの作成などを通して、大学で講義を受けるための基本的なスキルを身につける。

内容

オムニバス方式の授業である。担当教員ごとの授業内容とねらいを示す。

(齋藤麗子/1回)子どもと子どもを取り巻く環境について、児童保健学の領域から概観する。

(平田智久/2回)造形の視座から観察すると、乳幼児の行動は大人とは異なった表現行動である。乳幼児を理解し励ますためには、乳幼児の「異文化」を知ることが重要となる。

(赤井美智子/2回)より良い人間関係を他者と共に築く人として育つために、現代の社会状況において、子ども時代のような関係体験の積重ねが重要であるかを探る。

(上垣内伸子/2回)いまどきの子ども、いまどきの親、いまどきの親子関係について、事例をあげて紹介し、保育の今日的課題を探る。

(横井紘子/1回)子どもという存在の意味、そしてそこから関係的に引き出されてくる大人という存在の意味について、教育・保育的視点から反省的に問いなおしていく。

(野口隆子/1回)保育においては、子どもの理解が状況との関連で柔軟になされることが重要になる。幼児の行動の多様な解釈について具体的に述べたい。

(曾我淑人/1回)子どもの発達の過程で音楽がどのような役割を果たしているか、そして如何に対処していくかを学習する。

(坪倉紀代子/1回)幼児の活動の観察や、ビデオ資料をもとに、意識的な表現活動としての前段階にある、いわば表現の芽生えとしての身体によるおしゃべりの活動を見つけ出す活動を通して、幼年期における身体表現及びその身体、運動の特徴を確認していく。

(金勝裕子/1回)幼児をより深く知るための一方法としての音楽のかかわり方を探る。

(長田瑞恵 / 1回) 心理学の観点から、乳幼児期の発達の生物的基盤と社会文化的環境の役割について考える。

(向井美穂 / 1回) 少子化の問題や子育て支援の現状と課題について具体的に考える中で、子育ての大切さや難しさを理解する。

(鈴木晴子 / 1回) まとめ

評価

各担当教員の課題への取組み (50%) 試験 (50%)

合格点に満たなかった場合には「再試験」を行います。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

各担当教員が講義の中で、参考図書の紹介や資料の配布を行う予定です。

科目名	児童学演習		
担当教員名	長田 瑞恵、上垣内 伸子、横井 紘子、鈴木 晴子 他		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(2011年度生)-幼児教育学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この科目は教職免許および保育士資格の取得上の必修科目となっている。実習を通じて、乳幼児とかかわりを持ちながら学習を進めていく。実習という体験学習を通して、自ら関わりつつ子どもから学ぶ姿勢を確立する。

科目の概要

最初の実習となる1年次の児童学演習では、子どもが育つ様々な現場に実際に出かけ、現代社会の中での保育・育児および子どもの生活の実態を知る。さらに、実習の事前指導・事後指導において、保育に関する現代的課題について調査研究活動を行い、1年次履修の他の専門科目を通しての学び等を踏まえ、保育者として必要な知識技能を修得したことを確認する。

学修目標

1. 実習を通して、保育に関する科目横断的な学習能力を習得する。
2. 保育に関する現代的課題についての現状分析、考察、検討を行う。
3. 実習体験に加え、実習の事前指導・事後指導を通して、問題解決のための対応、判断方法等について学びを深める。
4. 1年次履修の専門科目との関連を踏まえ、自らの学びを振り返り、保育者として必要な知識・技能を修得したことを確認する。

内容

新座市内および周辺地域の、さまざまな保育および子ども支援サービスの場の見学実習を行う。具体的には、就学前の子どもの日中の保育の場である幼稚園および保育所や、保育と育児に関連する場の見学実習を行う。

学校教育としての保育

- ・幼稚園(本学附属幼稚園)

児童福祉施設での保育

- ・保育所(新座市立保育所)

児童厚生施設等での健全育成事業

- ・児童センター
- ・子育てサロン(公民館等)

その他

実習の前後には、事前学習や事後の報告発表や話し合いの時間をもち、子どもと子育てを取り巻く社会状況の理解および子ども理解を深める一助とする。さらに、実習の事前・事後学習を通して、問題を発見し、その問題を解決する過程や解決内容について再検討する手法を取得する。

評価

実習のレポートや発表(50%)、実習および事前事後学習への参加状況(50%)を総合して評価する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】

最新保育資料集(2011) ミネルヴァ書房

幼稚園教育要領解説 文部科学省 フレーベル館

保育所保育指針解説書 厚生労働省 フレーベル館

科目名	幼児教育学		
担当教員名	上垣内 伸子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(2011年度生)-幼児教育学科		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この科目は、幼児教育学科の専門科目で、卒業必修科目である。幼稚園教諭免許状と保育士資格取得のための必修科目としての位置付けられて、これから学習していく「幼児教育・保育」領域の基盤となる科目である。

科目の概要

幼児教育・保育にかかわる専門的知識を習得し、過去から現代に至る幼児教育・保育の思想、方法の概略を理解し、保育のあるべき方向の考察ができるようにする。乳幼児の生活実態を理解し、それを踏まえた保育、子育て支援、育児相談等の保育者の多様な責務について理解する。保育の目的と目標、保育のねらいと内容、保育方法、保育の環境、保育計画・教育課程、保育評価についての具体的理解に基づき、保育実践者としての自己のあり方やこれからの学び方について考える。

学修目標

- ・保育の基本的理解を目的とする。
- ・幼稚園教育要領および保育所保育指針における保育の基本について、保育内容と保育方法、保育の思想と歴史的変遷、保育の現状と今日的課題についての理解を深め、これからの保育の展望について、考察ができるようになることを目標に置く。
- ・保育に対する積極的な態度と、自ら考える力を養う。

内容

1	保育とは何か
2	保育の歴史
3	乳幼児の生活と発達
4	子どもと遊び
5	保育所保育指針・幼稚園教育要領の制度的位置づけと成立および改訂の経緯
6	保育の目的と目標
7	保育のねらいと内容
8	保育の環境
9	保育方法の原理
10	保育活動と保育形態
11	保育指導計画と保育・教育課程
12	保育者の役割と保育実践
13	家庭・地域との連携
14	世界の保育・幼児教育
15	保育の今日的課題と未来への保育ビジョン

評価

授業への参加態度や発言（30%）、学期内の小レポート・小テスト（30%）、学期末試験（40%）により評価を行う。
合格点に満たなかった場合は、「再試験」を行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】関口はつ江他『保育原理 - 実践的幼児教育論 - 』建帛社

文部科学省 幼稚園教育要領解説 フレーベル館

厚生労働省 保育所保育指針解説書 フレーベル館

最新保育資料集2011 ミネルヴァ書房

他に適宜プリント資料配布

【推薦書】津守真・森上史朗監修『倉橋惣三文庫全10巻』フレーベル館

津守真『子ども学のはじまり』フレーベル館

科目名	幼児教育学		
担当教員名	上垣内 伸子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(2011年度生)-幼児教育学科		
学 年	1	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この科目は、幼児教育学科の専門科目で、卒業必修科目である。幼稚園教諭免許状と保育士資格取得のための必修科目としての位置付けられて、これから学習していく「幼児教育・保育」領域の基盤となる科目である。

科目の概要

幼児教育・保育にかかわる専門的知識を習得し、過去から現代に至る幼児教育・保育の思想、方法の概略を理解し、保育のあるべき方向の考察ができるようにする。乳幼児の生活実態を理解し、それを踏まえた保育、子育て支援、育児相談等の保育者の多様な責務について理解する。保育の目的と目標、保育のねらいと内容、保育方法、保育の環境、保育計画・教育課程、保育評価についての具体的理解に基づき、保育実践者としての自己のあり方やこれからの学び方について考える。

学修目標

- ・ 保育の基本的理解を目的とする。
- ・ 幼稚園教育要領および保育所保育指針における保育の基本について、保育内容と保育方法、保育の思想と歴史的変遷、保育の現状と今日的課題についての理解を深め、これからの保育の展望について、考察ができるようになることを目標に置く。
- ・ 保育に対する積極的な態度と、自ら考える力を養う。

内容

1	保育とは何か
2	保育の歴史
3	乳幼児の生活と発達
4	子どもと遊び
5	保育所保育指針・幼稚園教育要領の制度的位置づけと成立および改訂の経緯
6	保育の目的と目標
7	保育のねらいと内容
8	保育の環境
9	保育方法の原理
10	保育活動と保育形態
11	保育指導計画と保育・教育課程
12	保育者の役割と保育実践
13	家庭・地域との連携
14	世界の保育・幼児教育
15	保育の今日的課題と未来への保育ビジョン

評価

授業への参加態度や発言（30%）、学期内の小レポート・小テスト（30%）、学期末試験（40%）により評価を行う。
合格点に満たなかった場合は、「再試験」を行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】関口はつ江他『保育原理 - 実践的幼児教育論 - 』建帛社

文部科学省 幼稚園教育要領解説 フレーベル館

厚生労働省 保育所保育指針解説書 フレーベル館

最新保育資料集2011 ミネルヴァ書房

他に適宜プリント資料配布

【推薦書】津守真・森上史朗監修『倉橋惣三文庫全10巻』フレーベル館

津守真『子ども学のはじまり』フレーベル館

科目名	教育学		
担当教員名	狩野 浩二		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（2011年度生）- 幼児教育学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

本科目は、教育職員免許法に定められた「教育の基礎理論に関する科目」のうち、その筆頭に掲げられた「教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想」を含む講義及び、保育士資格の「保育の本質・目的に関する科目」の「教育原理」を含む講義を行います。これから四年間にわたって教職科目や保育誌科目を受講していくもっとも最初の時期に「拳幾・保育の基礎を学ぶ科目」をして開講されます。

先生になるために最小限必要となる教育の歴史や理論に関する基礎を勉強することになります。講義では「教育とは何か」、「学校とは何か」、「教える・学ぶとはどういうことなのか」などの根源的な課題について、以下の内容項目に従って取り上げます。

教育の基礎理論に関して理解を深めること、仲間とともに課題を設定し、討論し合いながら研究を深めること、自己の見解を整理し、深め、発表することができること、をめあてとします。

内容

以下、講義内容を項目ごとに書いておきます（順不同）。

テキストの構成とほぼ重なっています。

第1回：教育とは何か

第2回：教育の目的

第3回：教育と児童福祉の関わり

第4回：人間形成と生活環境

第5回：欧米における教育思想の展開

第6回：日本における教育思想の展開

第7回：子ども観の歴史、教化、形成、教育の歴史

第8回：教育制度とは何か

第9回：教育法規と教育行政

第10回：学校の可能性（北海道家庭学校を中心に）

第11回：教育実践の可能性

第12回：生涯学習と社会教育

第13回：子どもの権利とは何か

第14回：十文字学園の創設と近代女子教育の流れ

第15回：まとめ

評価

ミニレポート（20点）と最終課題（80点）を総合して、単位を認定します。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【使用テキスト（教科書）】田嶋一他著『やさしい教育原理（新版）』有斐閣アルマ

【推薦書】ルソー『エミール（改版）上』岩波文庫、シング『狼に育てられた子』福村出版

【参考図書】留岡清男『教育農場50年』岩波書店、谷昌恒『ひとむれ』評論社

科目名	生涯発達心理学		
担当教員名	長田 瑞恵		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（2011年度生）- 幼児教育学科		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

本科目は、幼稚園教諭一種免許状取得のための必修科目であり、保育士養成課程教育カリキュラムにおける「保育の対象の理解に関する科目」の一つである。1年次の最初に学ぶ専門科目の一つとして、後の養成課程の基礎の一部を成すものである。

科目の概要

発達という概念について理解を深め、人間の一生の中の最初期である乳幼児期とそれに続く児童期の特徴について理解する。そして、発達や学習の過程、生涯発達の観点から考えた障がいについても理解を深める。また、子どもが人との相互的にかかわりを通して発達していくことを具体的に理解する。

学修目標

- ・生涯発達という観点から人間をとらえ、人の一生の各時期の発達の特徴について学ぶ。
- ・特に乳幼児期から児童期にかけての身体的、心理的発達について重要性を理解する。
- ・各時期の発達の特徴と、保育や学習との関連を考察する。

内容

1	保育と発達心理学（1）子どもの発達を理解することの意義・保育実践の評価と心理学
2	保育と発達心理学（2）発達観、子ども観と保育観
3	生涯発達と初期経験の重要性（1）胎児期及び新生児期の発達
4	生涯発達と初期経験の重要性（2）乳幼児期の発達
5	生涯発達と初期経験の重要性（3）学童期から青年期の発達
6	生涯発達と初期経験の重要性（4）成人期、老年期の発達
7	子どもの発達理解（1）子どもの発達と環境
8	子どもの発達理解（2）感情の発達と自我
9	子どもの発達理解（3）身体的機能と運動機能の発達
10	子どもの発達理解（4）知覚と認知の発達・学習
11	子どもの発達理解（5）言葉の発達と社会性
12	人との相互的にかかわりと子どもの発達（1）基本的信頼感の獲得
13	人との相互的にかかわりと子どもの発達（2）他者とのかかわり・社会的相互作用
14	生涯発達の観点から考えた障がいと発達援助
15	まとめ

評価

平常点（授業内の課題）20点、学期末の筆記試験80点（自由記述課題と選択式課題）として評価を行い、60点以上を合格とする。

合格点に満たなかった場合、再試験とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

- 【教科書】無藤隆・岩立京子編著 『乳幼児心理学』 北大路書房
無藤隆・藤崎真知代編著 『発達心理学』 北大路書房

科目名	生涯発達心理学		
担当教員名	長田 瑞恵		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（2011年度生）- 幼児教育学科		
学 年	1	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

科目の性格

本科目は、幼稚園教諭一種免許状取得のための必修科目であり、保育士養成課程教育カリキュラムにおける「保育の対象の理解に関する科目」の一つである。1年次の最初に学ぶ専門科目の一つとして、後の養成課程の基礎の一部を成すものである。

科目の概要

発達という概念について理解を深め、人間の一生の中の最初期である乳幼児期とそれに続く児童期の特徴について理解する。そして、発達や学習の過程、生涯発達の観点から考えた障がいについても理解を深める。また、子どもが人との相互的にかかわりを通して発達していくことを具体的に理解する。

学修目標

- ・生涯発達という観点から人間をとらえ、人の一生の各時期の発達の特徴について学ぶ。
- ・特に乳幼児期から児童期にかけての身体的、心理的発達について重要性を理解する。
- ・各時期の発達の特徴と、保育や学習との関連を考察する。

内容

1	保育と発達心理学（1）子どもの発達を理解することの意義・保育実践の評価と心理学
2	保育と発達心理学（2）発達観、子ども観と保育観
3	生涯発達と初期経験の重要性（1）胎児期及び新生児期の発達
4	生涯発達と初期経験の重要性（2）乳幼児期の発達
5	生涯発達と初期経験の重要性（3）学童期から青年期の発達
6	生涯発達と初期経験の重要性（4）成人期、老年期の発達
7	子どもの発達理解（1）子どもの発達と環境
8	子どもの発達理解（2）感情の発達と自我
9	子どもの発達理解（3）身体的機能と運動機能の発達
10	子どもの発達理解（4）知覚と認知の発達・学習
11	子どもの発達理解（5）言葉の発達と社会性
12	人との相互的にかかわりと子どもの発達（1）基本的信頼感の獲得
13	人との相互的にかかわりと子どもの発達（2）他者とのかかわり・社会的相互作用
14	生涯発達の観点から考えた障がいと発達援助
15	まとめ

評価

平常点（授業内の課題）20点、学期末の筆記試験80点（自由記述課題と選択式課題）として評価を行い、60点以上を合格とする。

合格点に満たなかった場合、再試験とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】無藤隆・岩立京子編著 『乳幼児心理学』 北大路書房

無藤隆・藤崎真知代編著 『発達心理学』 北大路書房

科目名	保育心理学		
担当教員名	大宮 明子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(2011年度生)-幼児教育学科		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

子どもの発達、生活や遊びを通じた学習の過程、性格、適応などを取り上げる。また、障害のある幼児を理解し、より適切な保育を進めるための発達援助についても、保育心理学の立場から考察する。

乳幼児期の子どもについての理解を深め、保育をより効果的に進めるための心理学的知見、さらに生活と遊びを通して学ぶ子どもの経験や学習過程を理解し、保育における発達援助について学ぶ。

内容

1	子どもの発達と保育実践(1)子ども理解における発達の把握
2	子どもの発達と保育実践(2)個人差や発達過程に応じた保育
3	子どもの発達と保育実践(3)身体感覚を伴う多様な経験と環境との相互作用
4	子どもの発達と保育実践(4)環境としての保育者と子どもの発達
5	子どもの発達と保育実践(5)子ども相互のかかわりと関係作り
6	子どもの発達と保育実践(6)自己主張と自己統制
7	子どもの発達と保育実践(7)子ども集団と保育の環境
8	学習過程(1)子どもの生活・遊びと学び
9	学習過程(2)生涯にわたる生きる力の基礎を培う
10	保育における発達援助(1)基本的な生活習慣の獲得と発達援助
11	保育における発達援助(2)自己の主体性の形成と発達援助
12	保育における発達援助(3)発達の課題に応じた援助やかかわり
13	保育における発達援助(4)発達の連続性と就学への支援
14	保育における発達援助(5)発達援助における協働
15	現代社会における子どもの発達と保育の課題

評価

毎回のリアクションペーパー30点、期末テストレポート70点で評価し、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】無藤隆・清水益次編著『保育の心理学』北大路書房

【推薦書】内田伸子編著『よくわかる乳幼児心理学』ミネルヴァ書房

服部照子・岡本雅子編著『保育発達学(第2版)』ミネルヴァ書房

科目名	保育心理学		
担当教員名	大宮 明子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(2011年度生)-幼児教育学科		
学 年	1	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、教員の免許状を取得するための必修科目です。

乳幼児期から児童期にかけての子どもの心身の発達についての理解を深めるとともに、生活と遊びを通して学ぶ子どもの経験や学習過程を理解し、保育における発達援助について学びます。また障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達を理解し、より適切な保育を進めるための発達援助についても考察します。

毎回、その内容に関して、感想・コメントを書くリアクションペーパーの提出を求めます。他の学生の意見も聞きながら、自らを省察し他者への援助の心を育てることを目標とします。

内容

1	子どもの発達と保育実践(1)子ども理解における発達の把握
2	子どもの発達と保育実践(2)個人差や発達過程に応じた保育
3	子どもの発達と保育実践(3)個人差や発達過程に応じた保育
4	子どもの発達と保育実践(4)環境としての保育者と子どもの発達
5	子どもの発達と保育実践(5)子ども相互のかかわりと関係作り
6	子どもの発達と保育実践(6)自己主張と自己統制
7	子どもの発達と保育実践(7)子ども集団と保育の環境
8	学習過程(1)子どもの生活・遊びと学び
9	学習過程(2)生涯にわたる生きる力の基礎を培う
10	保育における発達援助(1)基本的な生活習慣の獲得と発達援助
11	保育における発達援助(2)自己の主体性の形成と発達援助
12	保育における発達援助(3)発達の課題に応じた援助やかかわり
13	保育における発達援助(4)発達の連続性と就学への支援
14	保育における発達援助(5)発達援助における協働
15	現代社会における子どもの発達と保育の課題

評価

毎回のリアクションペーパー30点、期末テストレポート70点で評価し、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】無藤隆・清水益次編著『保育の心理学』北大路書房

【推薦書】内田伸子編著『よくわかる乳幼児心理学』ミネルヴァ書房

服部照子・岡本雅子編著『保育発達学(第2版)』ミネルヴァ書房

科目名	保育心理学		
担当教員名	大宮 明子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(2011年度生)-幼児教育学科		
学 年	1	ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、教員の免許状を取得するための必修科目です。

乳幼児期から児童期にかけての子どもの心身の発達についての理解を深めるとともに、生活と遊びを通して学ぶ子どもの経験や学習過程を理解し、保育における発達援助について学びます。また障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達を理解し、より適切な保育を進めるための発達援助についても考察します。

毎回、その内容に関して、感想・コメントを書くリアクションペーパーの提出を求めます。他の学生の意見も聞きながら、自らを省察し他者への援助の心を育てることを目標とします。

内容

1	子どもの発達と保育実践(1)子ども理解における発達の把握
2	子どもの発達と保育実践(2)個人差や発達過程に応じた保育
3	子どもの発達と保育実践(3)身体感覚を伴う多様な経験と環境との相互作用
4	子どもの発達と保育実践(4)環境としての保育者と子どもの発達
5	子どもの発達と保育実践(5)子ども相互のかかわりと関係作り
6	子どもの発達と保育実践(6)自己主張と自己統制
7	子どもの発達と保育実践(7)子ども集団と保育の環境
8	学習過程(1)子どもの生活・遊びと学び
9	学習過程(2)生涯にわたる生きる力の基礎を培う
10	保育における発達援助(1)基本的な生活習慣の獲得と発達援助
11	保育における発達援助(2)自己の主体性の形成と発達援助
12	保育における発達援助(3)発達の課題に応じた援助やかかわり
13	保育における発達援助(4)発達の連続性と就学への支援
14	保育における発達援助(5)発達援助における協働
15	現代社会における子どもの発達と保育の課題

評価

毎回のリアクションペーパー30点、期末テストレポート70点で評価し、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】無藤隆・清水益次編著『保育の心理学』北大路書房

【推薦書】内田伸子編著『よくわかる乳幼児心理学』ミネルヴァ書房

服部照子・岡本雅子編著『保育発達学(第2版)』ミネルヴァ書房

科目名	子ども家庭福祉		
担当教員名	鈴木 晴子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（2011年度生）- 幼児教育学科		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

本科目は、保育士資格を得るために必要になる科目で、子どもや家庭をめぐる福祉の概要を学び、ぶこととなります。1年次履修「社会福祉」、2年次履修「社会福祉援助技術」「養護原理」、3年次履修「養護内容」とも関連性があります。

科目の概要

現代の子どもの育つ環境の実態について具体的に学ぶことを通して、保育者としての子ども家庭福祉への見識を養うことを目指す。子ども権利条約や保育者の専門性と役割について理解を深める。

学修目標

1. 子ども家庭福祉の変遷を知り、基本的知識を身につける。
2. 子育て家庭への支援、児童福祉施設・児童厚生施設の現状を理解する。
3. 子どもの権利について理解を深める。
4. 保育者に求められる職務や資質・技能を理解する。

内容

1	子ども家庭福祉とは
2	子どもの育ちと社会的ニーズ
3	子ども家庭福祉の基本理念と歩み
4	子ども家庭福祉の法体系と今後の展望
5	子ども家庭福祉の実施体制 行政機関を中心に
6	子ども家庭福祉の実習体制 児童福祉施設を中心に
7	子どもの権利条約
8	気になる子どもの支援と課題 発達のおそきをもつ子どもを取り巻く現状
9	気になる子どもの支援と課題 大人社会の諸問題
10	気になる子どもの支援と課題 社会的養護システムと子ども虐待
11	気になる子どもの支援と課題 少年非行等への対応
12	子育て支援・次世代育成支援サービスの展開
13	子ども家庭福祉の援助活動と専門職の役割
14	専門職に求められる資質と専門性の意味、専門職倫理
15	まとめ ~ 育ち - 育てあう関係とは ~

評価

授業への参加状況（20点）、授業内の課題やリアクションペーパー（30点）、期末テスト（50点）により評価を行い、60点以上を合格とする。

合格点に満たなかった場合は再試験を行なう。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

[教科書] 柏女靈峰 『子ども家庭福祉論』 誠信書房

科目名	子ども家庭福祉		
担当教員名	鈴木 晴子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（2011年度生）- 幼児教育学科		
学 年	1	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

本科目は、保育士資格を得るために必要になる科目で、子どもや家庭をめぐる福祉の概要を学び、ぶこととなります。1年次履修「社会福祉」、2年次履修「社会福祉援助技術」「養護原理」、3年次履修「養護内容」とも関連性があります。

科目の概要

現代の子どもの育つ環境の実態について具体的に学ぶことを通して、保育者としての子ども家庭福祉への見識を養うことを目指す。子ども権利条約や保育者の専門性と役割について理解を深める。

学修目標

1. 子ども家庭福祉の変遷を知り、基本的知識を身につける。
2. 子育て家庭への支援、児童福祉施設・児童厚生施設の現状を理解する。
3. 子どもの権利について理解を深める。
4. 保育者に求められる職務や資質・技能を理解する。

内容

1	子ども家庭福祉とは
2	子どもの育ちと社会的ニーズ
3	子ども家庭福祉の基本理念と歩み
4	子ども家庭福祉の法体系と今後の展望
5	子ども家庭福祉の実施体制 行政機関を中心に
6	子ども家庭福祉の実習体制 児童福祉施設を中心に
7	子どもの権利条約
8	気になる子どもの支援と課題 発達のおそきをもつ子どもを取り巻く現状
9	気になる子どもの支援と課題 大人社会の諸問題
10	気になる子どもの支援と課題 社会的養護システムと子ども虐待
11	気になる子どもの支援と課題 少年非行等への対応
12	子育て支援・次世代育成支援サービスの展開
13	子ども家庭福祉の援助活動と専門職の役割
14	専門職に求められる資質と専門性の意味、専門職倫理
15	まとめ ~ 育ち - 育てあう関係とは ~

評価

授業への参加状況（20点）、授業内の課題やリアクションペーパー（30点）、期末テスト（50点）により評価を行い、60点以上を合格とする。

合格点に満たなかった場合は再試験を行なう。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

[教科書] 柏女靈峰 『子ども家庭福祉論』 誠信書房

科目名	社会福祉		
担当教員名	潮谷 恵美		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(2011年度生)-幼児教育学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

社会福祉は人々の生活状況、社会状況に関わり社会的な支援ニーズに応じて展開してきている。本講義ではこれまでの社会福祉の歴史や現代の社会福祉の動向・課題を概観し、社会福祉に関わる制度、実施体系、専門職などについて理解を深めることを目的とする。なかでも、社会福祉における人権の尊重や権利擁護、相談援助、利用者の保護にかかわる基本的な知識と実践の在り方を理解し、課題への考察をそれぞれの受講生が行うことができることを目指す。特に、社会福祉における子ども、家庭支援の位置づけの理解や考察には重点を置く。

本講義ではテキストや配布資料等の提示によって社会福祉に関わる基本的知識の理解や事例等の考察を求める。さらに、専門職として身につけるべき知識や技術、自己の課題に関わる考察ができることを目標とする。具体的には、テキストに示されている重要事項、社会福祉にかかわる基本的な法令などの基礎知識の獲得・理解をし、それらを用いて現代の福祉課題への考察を行うことを求める。

内容

1	オリエンテーション	社会福祉を学ぶ意義と課題
2	現代社会と社会福祉 1	社会福祉の概念と意義
3	現代社会と社会福祉 2	現代社会の特徴と福祉ニーズ
4	社会福祉の歴史 1	社会福祉と人権・権利擁護 欧米における社会福祉の歴史
5	社会福祉の歴史 2	日本における歴史と児童・家庭福祉の展開
6	社会福祉制度とその体系 1	社会福祉の制度体系
7	社会福祉制度とその体系 2	社会福祉のサービス実施・評価の体制と情報提供
8	社会福祉制度とその体系 3	社会福祉の財政と費用
9	社会福祉における専門職 1	専門職資格と社会福祉従事者の現状
10	社会福祉における専門職 2	専門職倫理
11	社会福祉援助の理論と方法 1	福祉ニーズと相談援助
12	社会福祉援助の理論と方法 2	援助の実際と利用者保護 専門職の連携
13	社会福祉の動向と課題 1	
14	社会福祉の動向と課題 2	
15	社会福祉の展望 まとめ	

評価

授業態度10% 提出物(課題・小テスト含む)30% 筆記試験 60% 合格点60点以上
合格点に満たなかった場合 再試験 を行う。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】『改訂・保育士養成講座』編纂委員会 編「改訂4版・保育士養成講座 第1巻 社会福祉」 全国社会福祉

協議会出版部

【参考図書】 厚生統計協会編集 「国民の福祉の動向2010/2011」厚生統計協会

野崎和義「ミネルヴァ社会福祉6法 2011 平成23年」 ミネルヴァ書房

その他 必要に応じて授業中に示す

科目名	児童保健学		
担当教員名	齋藤 麗子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(2011年度生)-幼児教育学科		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

子どもは大人を小さくしたわけではありません。乳児期、幼児期は成長を続け、人生の中でも最も変化が激しい時期です。児童保健学1は小児保健を学ぶ場です。入学初年度として子どもの成長、発育、発達や健康的な生活習慣について保育にかかわるものに知っていて欲しい幅広い基本的な事柄を健康な子どもを中心に学習します。さらに我が国の一般的な母子保健システムや母子手帳の役割、乳幼児健診についても長年母子保健行政や医療に関わってきた講師による実際的な講義を実施します。

内容

- 1,オリエンテーション 小児保健とは 人口動態について
- 2,母子保健行政システム
- 3,母子健康手帳の役割
- 4,乳児・幼児の発育と成長曲線
- 5,乳児・幼児の運動発達、神経発達
- 6,乳児健診 各種統計
- 7,1歳半健診、3歳児検診 就学時健診
- 8,受動喫煙の子どもへの影響
- 9,子どもの睡眠と生活リズム
- 10,乳幼児の栄養
- 12,指しゃぶり、おしゃぶりの口腔影響
- 13,子どもとメディア
- 14,授業の復習
- 15,まとめ 解説

評価

定期試験70% レポート20% 授業参加度10%によって評価し60点以上を合格とする。
合格点に満たない場合は再試験を実施する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

[教科書]日本保育園保健協議会編 [保育保健の基礎知識]日本小児医事出版社

[推薦書]田中哲郎監修 齋藤麗子共著[子育て支援における保健相談マニュアル]日本小児医事出版社

科目名	児童保健学		
担当教員名	齋藤 麗子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(2011年度生)-幼児教育学科		
学 年	1	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

子どもは大人を小さくしたわけではありません。乳児期、幼児期は成長を続け、人生の中でも最も変化が激しい時期です。児童保健学1は小児保健を学ぶ場です。入学初年度として子どもの成長、発育、発達や健康的な生活習慣について保育にかかわるものに知っていて欲しい幅広い基本的な事柄を健康な子どもを中心に学習します。さらに我が国の一般的な母子保健システムや母子手帳の役割、乳幼児健診についても長年母子保健行政や医療に関わってきた講師による実際的な講義を実施します。

内容

- 1,オリエンテーション 小児保健とは 人口動態について
- 2,母子保健行政システム
- 3,母子健康手帳の役割
- 4,乳児・幼児の発育と成長曲線
- 5,乳児・幼児の運動発達、神経発達
- 6,乳児健診 各種統計
- 7,1歳半健診、3歳児検診 就学時健診
- 8,受動喫煙の子どもへの影響
- 9,子どもの睡眠と生活リズム
- 10,乳幼児の栄養
- 12,指しゃぶり、おしゃぶりの口腔影響
- 13,子どもとメディア
- 14,授業の復習
- 15,まとめ 解説

評価

定期試験70% レポート20% 授業参加度10%によって評価し60点以上を合格とする。
合格点に満たない場合は再試験を実施する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

[教科書]日本保育園保健協議会編 [保育保健の基礎知識]日本小児医事出版社

[推薦書]田中哲郎監修 齋藤麗子共著[子育て支援における保健相談マニュアル]日本小児医事出版社

科目名	体育基礎（子どもと運動）		
担当教員名	杉原 隆		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（2011年度生）- 幼児教育学科		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

この科目は、幼稚園教諭、保育士資格を取得するために履修が必要な科目です。保育内容の指導法（健康）へとつながる基礎的な知識と理論を学びます。また、この科目は、子どもの運動についてさらに深く専門的にまなぶ幼児運動論や幼児運動論演習へと発展します。

この講義では、発達の特徴に応じた指導を行うために必要な、生涯発達の視点からとらえた運動発達の段階とその特徴について学びます。

学習目標は、次の3点です。 運動に関する伝統的な発達観と生涯発達の考えかたの違いを理解する。 新生児・乳児期、幼児期・児童期、青年・成人期の運動発達の特徴を理解する。 それぞれの発達の特徴に応じた指導のあり方を理解する。

内容

1	人間にとっての運動の意味
2	体育の目標からみた運動
3	伝統的な発達観と生涯発達から導かれる指導の違い
4	運動の基盤となる身体発達
5	新生児・乳児の運動発達の特徴 1
6	新生児・乳児の運動発達の特徴 2（DVDとビデオの視聴）
7	幼児・児童期の運動発達の特徴 1 運動コントロール能力の急増
8	幼児・児童期の運動発達の特徴 2 基礎的運動パターンの習得
9	幼児・児童期の運動発達の特徴 3 運動遊びの発達
10	幼児・児童期の運動発達の特徴 4 知的発達との関係
11	幼児・児童期の運動発達の特徴 5 人格的発達との関係
12	幼児・児童期の運動指導の基本的な考え方
13	青年・成人期の運動発達の特徴
14	遊びとしての運動の教育的効果
15	まとめ

評価

授業内容のまとめりに提出する課題（80点）、通常の授業態度（20点）。三分の二以上出席することで評価を受けることができます。60点以上を合格とします。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【推薦図書】 杉原隆編著 新版幼児の体育 建帛社

必要に応じて資料を配布

科目名	体育基礎（子どもと運動）		
担当教員名	杉原 隆		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（2011年度生）- 幼児教育学科		
学 年	1	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

この科目は、幼稚園教諭、保育士資格を取得するために履修が必要な科目です。保育内容の指導法（健康）へとつながる基礎的な知識と理論を学びます。また、この科目は、子どもの運動についてさらに深く専門的にまなぶ幼児運動論や幼児運動論演習へと発展します。

この講義では、発達の特徴に応じた指導を行うために必要な、生涯発達の視点からとらえた運動発達の段階とその特徴について学びます。

学習目標は、次の3点です。 運動に関する伝統的な発達観と生涯発達の考えかたの違いを理解する。 新生児・乳児期、幼児期・児童期、青年・成人期の運動発達の特徴を理解する。 それぞれの発達の特徴に応じた指導のあり方を理解する。

内容

1	人間にとっての運動の意味
2	体育の目標からみた運動
3	伝統的な発達観と生涯発達から導かれる指導の違い
4	運動の基盤となる身体発達
5	新生児・乳児の運動発達の特徴 1
6	新生児・乳児の運動発達の特徴 2（DVDとビデオの視聴）
7	幼児・児童期の運動発達の特徴 1 運動コントロール能力の急増
8	幼児・児童期の運動発達の特徴 2 基礎的運動パターンの習得
9	幼児・児童期の運動発達の特徴 3 運動遊びの発達
10	幼児・児童期の運動発達の特徴 4 知的発達との関係
11	幼児・児童期の運動発達の特徴 5 人格的発達との関係
12	幼児・児童期の運動指導の基本的な考え方
13	青年・成人期の運動発達の特徴
14	遊びとしての運動の教育的効果
15	まとめ

評価

授業内容のまとめりにごとに提出する課題（80点）、通常の授業態度（20点）。三分の二以上出席することで評価を受けることができます。60点以上を合格とします。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【推薦図書】 杉原隆編著 新版幼児の体育 建帛社

必要に応じて資料を配布

科目名	体育基礎（子どもと運動）		
担当教員名	杉原 隆		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（2011年度生）- 幼児教育学科		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

この科目は、幼稚園教諭、保育士資格を取得するために履修が必要な科目です。保育内容の指導法（健康）へとつながる基礎的な知識と理論を学びます。また、この科目は、子どもの運動についてさらに深く専門的にまなぶ幼児運動論や幼児運動論演習へと発展します。

この講義では、発達の特徴に応じた指導を行うために必要な、生涯発達の視点からとらえた運動発達の段階とその特徴について学びます。

学習目標は、次の3点です。 運動に関する伝統的な発達観と生涯発達の考えかたの違いを理解する。 新生児・乳児期、幼児期・児童期、青年・成人期の運動発達の特徴を理解する。 それぞれの発達の特徴に応じた指導のあり方を理解する。

内容

1	人間にとっての運動の意味
2	体育の目標からみた運動
3	伝統的な発達観と生涯発達から導かれる指導の違い
4	運動の基盤となる身体発達
5	新生児・乳児の運動発達の特徴 1
6	新生児・乳児の運動発達の特徴 2（DVDとビデオの視聴）
7	幼児・児童期の運動発達の特徴 1 運動コントロール能力の急増
8	幼児・児童期の運動発達の特徴 2 基礎的運動パターンの習得
9	幼児・児童期の運動発達の特徴 3 運動遊びの発達
10	幼児・児童期の運動発達の特徴 4 知的発達との関係
11	幼児・児童期の運動発達の特徴 5 人格的発達との関係
12	幼児・児童期の運動指導の基本的な考え方
13	青年・成人期の運動発達の特徴
14	遊びとしての運動の教育的効果
15	まとめ

評価

授業内容のまとめりに提出する課題（80点）、通常の授業態度（20点）。三分の二以上出席することで評価を受けることができます。60点以上を合格とします。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【推薦図書】 杉原隆編著 新版幼児の体育 建帛社

必要に応じて資料を配布

科目名	音楽基礎（ピアノ基礎技術）		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（2011年度生）- 幼児教育学科		
学 年		ク ラ ス	
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

科目の性格 ピアノ技術向上のために個人レッスン形式で行う。学生それぞれのレベルに応じた進度に合わせて、教本を進めていく。

科目の概要 バイエルピアノ教本全曲終了することで単位を修得する。すでに長い経験を持つ学生から初心者の学生まで、幅広い技術層がある。バイエルを終了した者はレベルに応じた授業を進めて行く。

学修目標 初心者はバイエルを終了し、実技試験に合格をすることが目標である。経験者は教員と相談し自由曲を実技試験として受ける。

「音楽基礎」の単位を修得して「音楽基礎」へ進む。「音楽基礎」が習得できない場合は「音楽基礎」を取ることはできない。

内容

後期から開講する授業であるので、前期は自習をして後期に備えることが望ましい。特に初心者は後期のみでバイエルを終了しなくてはならないので、予習の時間が長くあることを利用する。

初心者は「バイエルピアノ教則本」を購入し50番までは自習しておく。

すでに経験者は、自習してレベルを保つことを進める。

個人レッスンは一人90分で6 - 8人行う。

経験者の教本は担当の教員と授業の最初に相談をして進めていく。

評価

バイエルを終了したものは実技テストを受験できる。バイエル修了者はバイエルの中から指定された曲を弾く。

経験者は担当教員と課題曲を相談して実技試験を受ける。

実技の授業であるから、毎回の家庭学習の充実と、授業に対する熱意とで実技テストの受験が可能となることを注意すること。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

バイエルを終了していない学生は

「バイエルピアノ教則本(標準版)」全音楽譜出版社

科目名	造形基礎（感じて表現）		
担当教員名	平田 智久		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（2011年度生）- 幼児教育学科		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

乳・幼児・児童期の望ましい成長を願う時、造形的環境の担う役割は極めて大きい。

主に視覚や触覚を通して“もの”に関わり、感じ考え心を表したりする造形行動は、生活をより豊かにする営みであるばかりでなく、人間同士理解し合える手段として欠かせない行動のひとつである。

そうした人間にとって重要な生きる手段としての造形を、どのようにすれば乳幼児児童期に保障していけるだろうか。

科目の概要

大人になると、すでに造形的な価値観も獲得しているが、いわゆる上手下手という狭義の結果論がその価値基準になっていることが多い。造形嫌いになったり、造形行動に無関心になっている学生に、造形行動の大切さや楽しさを体中の感覚を駆使して再認識してもらうことが第一のねらいである。

学修目標

そのねらいが達成されることで、自己の感性を再認識し自己の価値観を多様にするばかりでなく、乳幼児から児童までの理解にも深く関わる。さらに子どもたちが育つ環境について造形を通して考え実践できる力を育成し、望ましい保育・教育の実現を可能にすることになる。

内容

造形的行為や行動、造形表現の基礎としての感性や意欲、さらに、さまざまな表現法に関わる技術などは、“もの”との直接体験からの感受習得が望ましい。そこで演習を通して、感性や意欲を高めながら、幅広い価値観が獲得できることを望み、造形基礎 および を連動させておこなう。従って、造形基礎 も継続して履修することを望む。

この造形基礎 では“もの=身近な素材”に直接触れて体感し、人間にとって“つくる”ことの意味を問い直しながら経験を深めていく。そのために身支度等の準備は必須である。

1. プロローグ・紙との出会い 1
2. 紙との出会い 2
3. 紙との出会い 3
4. 紙との出会い 4
5. 絵の具との出会い 1
6. 絵の具との出会い 2
7. 絵の具との出会い 3
8. 絵の具との出会い 4
9. 木との出会い 1
10. 木との出会い 2
11. 木との出会い 3
12. 粘土との出会い 1

13. 粘土との出会い 2
14. 粘土との出会い 3
15. エピローグ・水との出会い

評価

演習を通して行ったこと、感じたこと、考えたことなどを一冊のスケッチブックにまとめ、さらに関連したことを参考資料を基に書き加えて、自分自身の資料集を作り上げる(60%)。そのスケッチブックによって各々の感性、意欲について評価する(40%)。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

特に定めない。必要に応じ授業中に紹介する。

科目名	造形基礎（感じて表現）		
担当教員名	平田 智久		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（2011年度生）- 幼児教育学科		
学 年	1	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修* , 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

乳・幼児・児童期の望ましい成長を願う時、造形的環境の担う役割は極めて大きい。

主に視覚や触覚を通して“もの”に関わり、感じ考え心を表したりする造形行動は、生活をより豊かにする営みであるばかりでなく、人間同士理解し合える手段として欠かせない行動のひとつである。

そうした人間にとって重要な生きる手段としての造形を、どのようにすれば乳幼児児童期に保障していけるだろうか。

科目の概要

大人になると、すでに造形的な価値観も獲得しているが、いわゆる上手下手という狭義の結果論がその価値基準になっていることが多い。造形嫌いになったり、造形行動に無関心になっている学生に、造形行動の大切さや楽しさを体中の感覚を駆使して再認識してもらうことが第一のねらいである。

学修目標

そのねらいが達成されることで、自己の感性を再認識し自己の価値観を多様にするばかりでなく、乳幼児から児童までの理解にも深く関わる。さらに子どもたちが育つ環境について造形を通して考え実践できる力を育成し、望ましい保育・教育の実現を可能にすることになる。

内容

造形的行為や行動、造形表現の基礎としての感性や意欲、さらに、さまざまな表現法に関わる技術などは、“もの”との直接体験からの感受習得が望ましい。そこで演習を通して、感性や意欲を高めながら、幅広い価値観が獲得できることを望み、造形基礎 および を連動させておこなう。従って、造形基礎 も継続して履修することを望む。

この造形基礎 では“もの=身近な素材”に直接触れて体感し、人間にとって“つくる”ことの意味を問い直しながら経験を深めていく。そのために身支度等の準備は必須である。

1. プロローグ・紙との出会い 1
2. 紙との出会い 2
3. 紙との出会い 3
4. 紙との出会い 4
5. 絵の具との出会い 1
6. 絵の具との出会い 2
7. 絵の具との出会い 3
8. 絵の具との出会い 4
9. 木との出会い 1
10. 木との出会い 2
11. 木との出会い 3
12. 粘土との出会い 1

13. 粘土との出会い 2
14. 粘土との出会い 3
15. エピローグ・水との出会い

評価

演習を通して行ったこと、感じたこと、考えたことなどを一冊のスケッチブックにまとめ、さらに関連したことを参考資料を基に書き加えて、自分自身の資料集を作り上げる(60%)。そのスケッチブックによって各々の感性、意欲について評価する(40%)。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

特に定めない。必要に応じ授業中に紹介する。

科目名	造形基礎（感じて表現）		
担当教員名	平田 智久		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（2011年度生）- 幼児教育学科		
学 年	1	ク ラ ス	1Cクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修* , 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

乳・幼児・児童期の望ましい成長を願う時、造形的環境の担う役割は極めて大きい。

主に視覚や触覚を通して“もの”に関わり、感じ考え心を表したりする造形行動は、生活をより豊かにする営みであるばかりでなく、人間同士理解し合える手段として欠かせない行動のひとつである。

そうした人間にとって重要な生きる手段としての造形を、どのようにすれば乳幼児児童期に保障していけるだろうか。

科目の概要

大人になると、すでに造形的な価値観も獲得しているが、いわゆる上手下手という狭義の結果論がその価値基準になっていることが多い。造形嫌いになったり、造形行動に無関心になっている学生に、造形行動の大切さや楽しさを体中の感覚を駆使して再認識してもらうことが第一のねらいである。

学修目標

そのねらいが達成されることで、自己の感性を再認識し自己の価値観を多様にするばかりでなく、乳幼児から児童までの理解にも深く関わる。さらに子どもたちが育つ環境について造形を通して考え実践できる力を育成し、望ましい保育・教育の実現を可能にすることになる。

内容

造形的行為や行動、造形表現の基礎としての感性や意欲、さらに、さまざまな表現法に関わる技術などは、“もの”との直接体験からの感受習得が望ましい。そこで演習を通して、感性や意欲を高めながら、幅広い価値観が獲得できることを望み、造形基礎 および を連動させておこなう。従って、造形基礎 も継続して履修することを望む。

この造形基礎 では“もの=身近な素材”に直接触れて体感し、人間にとって“つくる”ことの意味を問い直しながら経験を深めていく。そのために身支度等の準備は必須である。

1. プロローグ・紙との出会い 1
2. 紙との出会い 2
3. 紙との出会い 3
4. 紙との出会い 4
5. 絵の具との出会い 1
6. 絵の具との出会い 2
7. 絵の具との出会い 3
8. 絵の具との出会い 4
9. 木との出会い 1
10. 木との出会い 2
11. 木との出会い 3
12. 粘土との出会い 1

13. 粘土との出会い 2
14. 粘土との出会い 3
15. エピローグ・水との出会い

評価

演習を通して行ったこと、感じたこと、考えたことなどを一冊のスケッチブックにまとめ、さらに関連したことを参考資料を基に書き加えて、自分自身の資料集を作り上げる(60%)。そのスケッチブックによって各々の感性、意欲について評価する(40%)。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

特に定めない。必要に応じ授業中に紹介する。

科目名	造形基礎（考えて表現）		
担当教員名	宮野 周		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（2011年度生）- 幼児教育学科		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

身近な自然物やものの色や形、感触やイメージ等に親しむ経験や具体的な造形あそびを通して造形表現の楽しさや喜びを味わい、子どもの発達と造形表現に関する知識・技術を習得し、将来、保育者として必要な実践的な力を身につけることを目的とします。

素材体験、造形あそび等、実技を中心とした授業内容のため、活動しやすく汚れても良い服装で受講すること。

様々な表現や材料体験を通して、指導者となるための幅広い造形的な能力を身につけてほしい。

内容

1	授業の内容、扱う道具、評価方法、約束事などを知る。
2	様々な描画材料の特徴について理解し「かく」活動1について学ぶ。
3	様々な描画材料の特徴について理解し「かく」活動2について学ぶ。
4	色彩の基礎1について学ぶ。
5	色彩の基礎2 について学ぶ。
6	身近にある材料1を使った表現を学ぶ。
7	身近にある材料2を使った表現を学ぶ。
8	身近にある材料3を使った表現を学ぶ。
9	身近にある材料4を使った表現を学ぶ。
10	身近にある材料5を使った表現を学ぶ。
11	身近な材料1でつくって遊ぶモノづくりを学ぶ。
12	身近な材料2をつかって遊ぶモノづくりを学ぶ。
13	身近な材料3をつかって遊ぶモノづくりを学ぶ。
14	映像メディア表現の可能性や教材化などを学ぶ。
15	まとめ

評価

活動への取り組み、学習態度（30%）、課題、提出物、レポート（70%）により総合的に判断します。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

適宜、紹介する。

推薦書

- ・東山明『絵画・製作・造形あそび指導百科』ひかりのくに
- ・阿部寿文・舟井賀世子『0・1・2歳児の造形あそび百科』ひかりのくに

・平田智久・小野和編著 『すべての感覚を駆使してわかる乳幼児の造形表現』 保育出版社

科目名	造形基礎（考えて表現）		
担当教員名	宮野 周		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（2011年度生）- 幼児教育学科		
学 年	1	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

身近な自然物やものの色や形、感触やイメージ等に親しむ経験や具体的な造形あそびを通して造形表現の楽しさや喜びを味わい、子どもの発達と造形表現に関する知識・技術を習得し、将来、保育者として必要な実践的な力を身につけることを目的とします。

素材体験、造形あそび等、実技を中心とした授業内容のため、活動しやすく汚れても良い服装で受講すること。

様々な表現や材料体験を通して、指導者となるための幅広い造形的な能力を身につけてほしい。

内容

1	授業の内容、扱う道具、評価方法、約束事などを知る。
2	様々な描画材料の特徴について理解し「かく」活動1について学ぶ。
3	様々な描画材料の特徴について理解し「かく」活動2について学ぶ。
4	色彩の基礎1について学ぶ。
5	色彩の基礎2 について学ぶ。
6	身近にある材料1を使った表現を学ぶ。
7	身近にある材料2を使った表現を学ぶ。
8	身近にある材料3を使った表現を学ぶ。
9	身近にある材料4を使った表現を学ぶ。
10	身近にある材料5を使った表現を学ぶ。
11	身近な材料1でつくって遊ぶモノづくりを学ぶ。
12	身近な材料2をつかって遊ぶモノづくりを学ぶ。
13	身近な材料3をつかって遊ぶモノづくりを学ぶ。
14	映像メディア表現の可能性や教材化などを学ぶ。
15	まとめ

評価

活動への取り組み、学習態度（30%）、課題、提出物、レポート（70%）により総合的に判断します。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

適宜、紹介する。

推薦書

- ・東山明『絵画・製作・造形あそび指導百科』ひかりのくに
- ・阿部寿文・舟井賀世子『0・1・2歳児の造形あそび百科』ひかりのくに

・平田智久・小野和編著 『すべての感覚を駆使してわかる乳幼児の造形表現』 保育出版社

科目名	造形基礎（考えて表現）		
担当教員名	宮野 周		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（2011年度生）- 幼児教育学科		
学 年	1	ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

身近な自然物やものの色や形、感触やイメージ等に親しむ経験や具体的な造形あそびを通して造形表現の楽しさや喜びを味わい、子どもの発達と造形表現に関する知識・技術を習得し、将来、保育者として必要な実践的な力を身につけることを目的とします。

素材体験、造形あそび等、実技を中心とした授業内容のため、活動しやすく汚れても良い服装で受講すること。

様々な表現や材料体験を通して、指導者となるための幅広い造形的な能力を身につけてほしい。

内容

1	授業の内容、扱う道具、評価方法、約束事などを知る。
2	様々な描画材料の特徴について理解し「かく」活動1について学ぶ。
3	様々な描画材料の特徴について理解し「かく」活動2について学ぶ。
4	色彩の基礎1について学ぶ。
5	色彩の基礎2 について学ぶ。
6	身近にある材料1を使った表現を学ぶ。
7	身近にある材料2を使った表現を学ぶ。
8	身近にある材料3を使った表現を学ぶ。
9	身近にある材料4を使った表現を学ぶ。
10	身近にある材料5を使った表現を学ぶ。
11	身近な材料1でつくって遊ぶモノづくりを学ぶ。
12	身近な材料2をつかって遊ぶモノづくりを学ぶ。
13	身近な材料3をつかって遊ぶモノづくりを学ぶ。
14	映像メディア表現の可能性や教材化などを学ぶ。
15	まとめ

評価

活動への取り組み、学習態度（30%）、課題、提出物、レポート（70%）により総合的に判断します。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

適宜、紹介する。

推薦書

- ・東山明『絵画・製作・造形あそび指導百科』ひかりのくに
- ・阿部寿文・舟井賀世子『0・1・2歳児の造形あそび百科』ひかりのくに

・平田智久・小野和編著 『すべての感覚を駆使してわかる乳幼児の造形表現』 保育出版社

科目名	言語文化表現		
担当教員名	皆川 美恵子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（2011年度生）- 幼児教育学科		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

保育士資格を取得するための必修科目である。子どもの言語表現にかかわる、保育士の基礎的保育技術を修得する演習科目として位置づけられている。

科目の概要

子どもの遊びを豊かに展開していくのに必要な知識・技術の中の、言語表現活動に関わる多層的な児童文化について実際に学ぶ。そもそも児童文化とは何かについての理解を促していきながら、その上で、保育活動への具体的展開を習得するための実践方法を提示していく。

授業のなかでは、子どもが遊びのなかで歌う、遊戯歌、歳時歌、ことば遊び歌、子守唄などから始まり、なぞなぞ、昔話、紙芝居、絵本などの物語性を豊かに内包した言葉の世界を扱う。子どもの遊びやイメージを豊かに育むための環境構成のあり方と保育の展開にも触れて行く。

学修目標

まずは欠席することなく、授業に出席すること。演習科目なので、人前で演じるプレゼンテーションの度胸、技術を身につけること。学生自身の言語能力もさらに深めるため、試験では言語表現力を駆使して筆記試験に臨んでもらいたい。

内容

- 第1回 変化する社会と児童文化
- 第2回 子どもにとっての遊び
- 第3回 保育のなかの遊び
- 第4回 子どもの発達と言語文化
- 第5回 伝承遊びとわらべ唄
- 第6回 伝承遊びで遊んでみましょう【実演】
- 第7回 昔話の世界
- 第8回 さまざまなおはなしの世界（口演童話、ストーリー・テリング、素話など）
- 第9回 おはなしをしてみましょう【実演】
- 第10回 紙芝居の世界
- 第11回 紙芝居を演じてみましょう【実演】
- 第12回 絵本の世界
- 第13回 絵本を読んでみましょう【実演】
- 第14回 年中行事を活かした遊びの展開
- 第15回 生活発表会を活かした遊びの展開

評価

授業への取り組み方20%、試験80パーセントによって評価する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

『児童文化 子どものはあわせを考える学びの森』皆川美恵子・武田京子編著　ななみ書房

科目名	言語文化表現		
担当教員名	皆川 美恵子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（2011年度生）- 幼児教育学科		
学 年	1	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

保育士資格を取得するための必修科目である。子どもの言語表現にかかわる、保育士の基礎的保育技術を修得する演習科目として位置づけられている。

科目の概要

子どもの遊びを豊かに展開していくのに必要な知識・技術の中の、言語表現活動に関わる多層的な児童文化について実際に学ぶ。そもそも児童文化とは何かについての理解を促していきながら、その上で、保育活動への具体的展開を習得するための実践方法を提示していく。

授業のなかでは、子どもが遊びのなかで歌う、遊戯歌、歳時歌、ことば遊び歌、子守唄などから始まり、なぞなぞ、昔話、紙芝居、絵本などの物語性を豊かに内包した言葉の世界を扱う。子どもの遊びやイメージを豊かに育むための環境構成のあり方と保育の展開にも触れて行く。

学修目標

まずは欠席することなく、授業に出席すること。演習科目なので、人前で演じるプレゼンテーションの度胸、技術を身につけること。学生自身の言語能力もさらに深めるため、試験では言語表現力を駆使して筆記試験に臨んでもらいたい。

内容

- 第1回 変化する社会と児童文化
- 第2回 子どもにとっての遊び
- 第3回 保育のなかの遊び
- 第4回 子どもの発達と言語文化
- 第5回 伝承遊びとわらべ唄
- 第6回 伝承遊びで遊んでみましょう【実演】
- 第7回 昔話の世界
- 第8回 さまざまなおはなしの世界（口演童話、ストーリー・テリング、素話など）
- 第9回 おはなしをしてみましょう【実演】
- 第10回 紙芝居の世界
- 第11回 紙芝居を演じてみましょう【実演】
- 第12回 絵本の世界
- 第13回 絵本を読んでみましょう【実演】
- 第14回 年中行事を活かした遊びの展開
- 第15回 生活発表会を活かした遊びの展開

評価

授業への取り組み方20%、試験80パーセントによって評価する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

『児童文化 子どものはあわせを考える学びの森』皆川美恵子・武田京子編著　ななみ書房

科目名	言語文化表現		
担当教員名	皆川 美恵子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(2011年度生)-幼児教育学科		
学 年	1	ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格/幼稚園教諭一種免許状		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

保育士資格を取得するための必修科目である。子どもの言語表現にかかわる、保育士の基礎的保育技術を修得する演習科目として位置づけられている。

科目の概要

子どもの遊びを豊かに展開していくのに必要な知識・技術の中の、言語表現活動に関わる多層的な児童文化について実際に学ぶ。そもそも児童文化とは何かについての理解を促していきながら、その上で、保育活動への具体的展開を習得するための実践方法を提示していく。

授業のなかでは、子どもが遊びのなかで歌う、遊戯歌、歳時歌、ことば遊び歌、子守唄などから始まり、なぞなぞ、昔話、紙芝居、絵本などの物語性を豊かに内包した言葉の世界を扱う。子どもの遊びやイメージを豊かに育むための環境構成のあり方と保育の展開にも触れて行く。

学修目標

まずは欠席することなく、授業に出席すること。演習科目なので、人前で演じるプレゼンテーションの度胸、技術を身につけること。学生自身の言語能力もさらに深めるため、試験では言語表現力を駆使して筆記試験に臨んでもらいたい。

内容

- 第1回 変化する社会と児童文化
- 第2回 子どもにとっての遊び
- 第3回 保育のなかの遊び
- 第4回 子どもの発達と言語文化
- 第5回 伝承遊びとわらべ唄
- 第6回 伝承遊びで遊んでみましょう【実演】
- 第7回 昔話の世界
- 第8回 さまざまなおはなしの世界(口演童話、ストーリー・テリング、素話など)
- 第9回 おはなしをしてみましょう【実演】
- 第10回 紙芝居の世界
- 第11回 紙芝居を演じてみましょう【実演】
- 第12回 絵本の世界
- 第13回 絵本を読んでみましょう【実演】
- 第14回 年中行事を活かした遊びの展開
- 第15回 生活発表会を活かした遊びの展開

評価

授業への取り組み方20%、試験80パーセントによって評価する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

『児童文化 子どものはあわせを考える学びの森』皆川美恵子・武田京子編著 ななみ書房